

役員業績評価 (令和4(2022)年度)

法人名(団体名)	川崎市信用保証協会	役職	会長・専務理事・常務理事
----------	-----------	----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組												
取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和4(2022)年度)	実績値 (令和4(2022)年度)	単位	達成度 (%)	指標に対する達成度やその他の成果等に関するコメント	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	ウェイト	加算率	評点
①	保証事業	保証承諾金額	35,225	40,000	38,333	百万円	b	感染症対応資金等の利用により手元資金が充足している企業者等が一定数いること等により、信用保証の利用がコロナ禍以前に戻りつつあるもの、資金需要が一段落していることなどから、目標値に達しませんでした。	C	45.0	0.4	18.0
		保証債務残高	212,794	209,500	201,466	百万円	c	中小企業の発達状況に応じた金融支援、訪問支援に取組んだが、資金需要の一段落、見込みを上回る償還や代位弁済の増加等もあり、目標値を下回りました。				
		経営支援のための企業訪問	670	500	733	回	a	条件変更や事故に至る前の早い段階で、金融機関と連携を図り経営状況を把握するため等の訪問支援を積極的に実施したことにより、目標値を上回りました。				
		事業別の行政サービスコスト (①~②事業合計)	本市財政支出 (直接事業費)	21,334 (3,734,523)	98,972 (6,291,042)	64,985 (4,909,168)	千円	1)	代位弁済補助は、3年度実績を上回ったものの、金額は目標値の範囲内となりました。	(2)		
②	回収事業	元損回収金額	389	450	497	百万円	a	担保権が設定されている案件の売却を進めるとともに、無担保案件はサービスへの委託を行い回収に努めることなどにより、目標値を上回りました。	A	15.0	1.0	15.0
		実際回収率	0.64	0.60	0.94	%	a	求償権関係者の状況に応じた柔軟な対応と、適切な管理及び効率性を重視した管理回収に務めたこと等により、目標値を上回りました。				
2. 経営健全化に向けた取組												
取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和4(2022)年度)	実績値 (令和4(2022)年度)	単位	達成度 (%)	指標に対する達成度やその他の成果等に関するコメント	本市による評価 ・達成状況	ウェイト	加算率	評点
①	経営基盤の強化	経常・経常外収支比率	121.6	105.3	115.2	%	a	保証料収入は減少したが、経費抑制等に努めたことなどにより、目標値を上回りました。	A	10.0	1.0	10.0
		基金準備金造成	460	182	414	百万円	a	信用保証事業等の適切な運営により、収入確保と経費抑制に努めたことから、目標値を上回りました。				
		安全で効率的な資金運用	227	225	234	百万円	a	自己資金運用計画に基づき、取崩しの蓋然性が低い基本財産については、長期債での運用を行ったこと等から、目標値を上回りました。				
3. 業務・組織に関する取組												
取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和4(2022)年度)	実績値 (令和4(2022)年度)	単位	達成度 (%)	指標に対する達成度やその他の成果等に関するコメント	本市による評価 ・達成状況	ウェイト	加算率	評点
①	資質向上を図るための人材育成	人材育成に関する取組	12	13	13	人	a	中小企業診断士に1名が合格し、延べ合格者数は中小企業診断士5名、信用調査検定(上級)8名となり、目標を達成しました。	A	5.0	1.0	5.0
②	経営の透明性の向上	情報発信回数	20	20	20	回	a	年度経営計画等について外部評価委員会から意見を頂いた上で公表するとともに、ディスクロージャー誌等により情報発信し、目標を達成しました。	A	5.0	1.0	5.0
合計									B	100.0	—	73.0

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)

費用対効果 目標達成状況	(1)十分である (0.5)	(2)概ね十分である (0.4)	(3)やや不十分 である(0.2)	(4)不十分である (0.0)	なし (×2)
A.目標を達成した (0.5)	1.0	0.9	0.7	0.5	1.0
B.ほぼ目標を達成した (0.4)	0.9	0.8	0.6	0.4	0.8
C.目標未達成のものがある が一定の成果があった(0.2)	0.7	0.6	0.4	0.2	0.4
D.現状を下回るものが 多くあった(0.1)	0.6	0.5	0.3	0.1	0.2
E.現状を大幅に下回った (0.0)	0.5	0.4	0.2	0.0	0.0